

# 公益財団法人橘秋子記念財団 令和2年度事業報告書

自 令和2年4月 1日  
至 令和3年3月31日

## 1. バレエ芸術の優秀な成果に対する表彰

### 橘秋子賞

- ① 令和2年3月の理事会で受賞者2名決定され、受賞式は令和3年度に実施だったが新型コロナウイルス感染拡大により、受賞式及び受賞パーティは中止した。

(受賞者：特別賞 斎藤友佳理氏 優秀賞 米沢 唯氏)

(選考委員：伊地知優子氏、うらわまこと氏、三谷恭三氏、山野博大氏)

- ② 埼玉県舞踊協会主催による埼玉県舞踊コンクール（令和2年7月）の各部1位入賞者へ、橘秋子賞として盾（ブロンズ）を授与予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大により舞踊コンクールを中止した。

## 2. 奨学金の授与

令和2年4月18日（土）、19日（日）に開催予定のジャパンダンスコンペディションが中止になり、今年度は選考されなかった。

## 3. 盛田正明スカラシップ制度の発足

盛田正明氏によるバレエダンサー人材育成のための寄付金を中心として、毎年将来性のあるバレエ塾生1名（2学年制で年2名）に対して授業料免除及び奨学金（月3万円）付与する制度を令和3年度から実施することとし、今年度、小池京介氏を選考した。令和3年3月30日（火）新宿文化センター大ホールロビーで受賞式を執り行った。

## 4. バレエ公演の開催事業等

- (1) ジャパン・フェスティバル・バレエ団による自主公演を開催した。

日時：令和3年2月28日（日） 場所：文京シビックホール大ホール

演目：「ガーシュウィンズ・ドリーム」「ドン・キホーテ」より第3幕

ほか

団員：6名、ゲストダンサー29名

入場数：523名 内招待41名

- (2) 児童のためのバレエ芸術の指導とその発表

- ・東京会場では、週1回月3回、児童を集め、バレエの指導を行った。

(3月 2回と4月5月は新型コロナウイルス感染症拡大のため休校、振替受講にて、その後実施)

- ・新潟会場では、年間12回指導を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大のため6月と3月の2回行った。

また、その成果を発表する場として、8月11日（火）文京シビック大ホール（東京・文京区）にて、「第46回日本ジュニアバレエ公演」を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

(3) 青少年に対するバレエ芸術の後継者育成事業（牧阿佐美バレエ塾）

・牧阿佐美バレエ塾

年齢：15歳～22歳

人数：3名

レッスン及び講座：週5回8月休み年11か月(午前10時～午後5時)

・牧阿佐美バレエ塾小・中学生コース

小4～高校1年生の生徒40名程度月に3回8月休み

・牧阿佐美バレエ塾発表会を令和3年3月30日（火）新宿文化センター大ホールにおいて実施した。

参加人数：41名（内訳：塾生3名、修了生4名、牧阿佐美バレエ団員2名、小学生コース6名、中学生コース16名、夏の講習会より7名、ゲスト3名）

入場数：397名 内招待50名

(4) ジャパンダンスコンペティションの開催

次代を担う優れた才能を発掘し育成することを目的として、2日間、文京シビックホール（東京 文京区）にて「第8回ジャパンダンスコンペティション」の開催を予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

5. 国内外で実績があるバレエ教師、振付師の招聘

実績があるバレエ教師による、講習会は新型コロナウイルス感染症拡大等により実施出来なかった。

6. 会報の発行

「バレエ・エスカイア」は、不定期に発行。今年度は発行しなかった。

7. その他の事業

上記の事業を達成するために必要な寄付金募集活動を行なった。